

日本外来小児科学会08に参加して

院長

毎年8月末は、日本外来小児科学会に参加します。学会の役員をしているため前日からの参加となり、皆さんには大変ご迷惑をお掛けしています。お詫びの代わりに、新聞で学会の様子を報告しています。

今年の日本外来小児科学会は、8月30日～31日に名古屋で開催されました。この学会は小児科の開業医が中心で、全国から2000人近い参加者が集まります。学会という医師だけの集まりと思われがちですが、看護師、薬剤師や事務スタッフに参加できるのが特徴です。昨年の開催地は遠い熊本ということもあり、残念ながらスタッフの参加しませんでした。今年は、看護師は参加できませんでした。事務スタッフの福地、道端君と一緒に参加してきました。以下、学会旅行記です。

名古屋は前日に大きな被害が出るほどの集中豪雨。29日の学会役員会のため、13:10仙台発の飛行機を予約。飛行機が飛ぶかどうか心配しながら空港へ。飛行機は定刻通りにフライト、そして中部国際空港(セントレア)着は14:25。飛行機は、かの有名なボンバルディア。名古屋に近くに連れて、集中豪雨の不安定な気象条件の影響で大揺れ。セントレアからは、空港に直結した名鉄の特急で名古屋駅へ。空港駅と車両は、近未来的でちょっと感動。先生は、18:00から役員会へ。

30日の学会第一日目の仕事は、9:00からの院内報の展示。毎月発行している院内報の第1号と最新号、「お母さんクラブ」の会報を展示。朝からのんびりできない、学会の始まり。今回の学会はスタッフの発表もなく、慰安旅行も兼ねて計画。慰安旅行となれば、見たり食べたりも、大きな目的。昼食は、名古屋名物の「ひつまぶし」で有名な蓬萊軒へ。「ひつまぶし」ではないので、念のため。非常に混む店で1時間以上待つこともあると言われ、11:00前には学会場を後に。着いたところ、団体さんがバスから続々と。これでは長時間待つのかと思ったところ、何とか一順

目でセーフ。さて、「ひつまぶし」(写真)とはいったいどんな食べ物？。写真の通り、おひつに入ったうな井みたいなもの。名前の由来は、ひつはおひつ、うなぎのことをマムシと呼ぶので、「ひつまぶし」とか。食べ方が変わっていて、4回に分けて。おひつの中身を4等分にして、1回目はそのまま、2回目はネギなどの薬味とワサビで、3回目はお茶漬にして、そして最後は一番美味しかったものをもう一杯。スタッフは初めての経験で、大雨の中来てよかったと感激しきり。隣に熱田神宮があったので、お参りを。はてさて若いスタッフは、どんな願いを？。お参り後は、もちろん学会場に戻り、最後まで講演を聞いたのは言うまでもないこと。



翌日は、院長の出番。役員を務めている関係から、座長を頼まれて。学会には講演の他に、研究を発表する一般演題というものが。一般演題はセッションに分けられ、セッションの司会をするのが座長。院長が担当したセッション



は健診で、会場には多くの聴衆が。緊張もせず何とか無事に終了。院長の仕事によそに、スタッフは名古屋の市内観光へ。ルートは、金の鯨

で有名な名古屋城(写真)、徳川園、徳川美術館、名古屋テレビ塔。もちろん院長の許可を取っての慰安旅行としての行動。院長もスタッフに負け地と、名古屋名物みそ煮込みうどんへ。そして18:15の飛行機で、仙台への帰路に。慰安旅行を兼ねた、よい学会参加で皆満足。

今回の報告は学会より、観光がメインになってしまいました。休診して皆さんに迷惑をかけてまで出掛けてきたので、しっかり勉強もしてきたつもりです。休診を知らずに来院した方もいると思います。迷惑をおかけしました。このように余裕を持って学会に参加できるのも、皆さんのお陰です。学会で得たものを、診療に生かしていこうと思います。ご理解とご協力、ありがとうございました。

9月のお知らせ

・栄養育児相談

毎週水曜日 13:30～ 栄養士担当

・東北大学医学部学生実習

9月19日(金)

ご協力をお願いします。



読者の広場

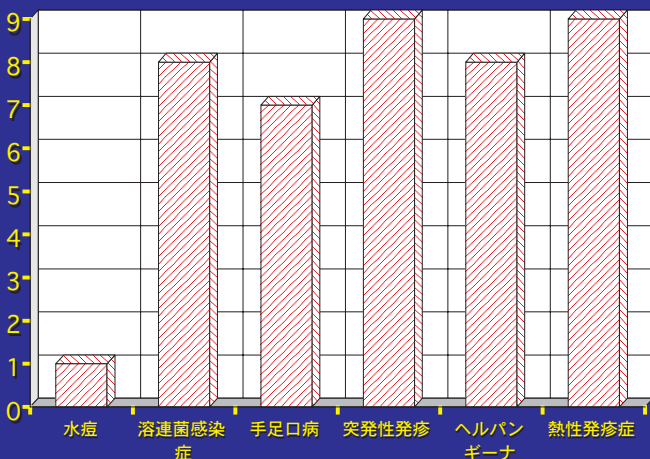
夏休みのせいではないのですが、先月はわずか4通のメールでした。ちょっと淋しい気がします。以前かかりつけだった京都の早坂さんのメールを紹介します。「川村先生、お元気でしょうか。宣伝・広報担当@京都から早坂ですー (^_^ゞご無沙汰ばかりして、すみません…クリニックニュース受け取りました♪いつもありがとうございますー。先日は、名古屋へ学会でいらしてたんですね。豪雨など、大丈夫でしたか? 8月最後の週末は一気に秋めいた気温でしたが、9月に入り、またまた連日30度を超す暑さになって、まだ、扇風機やエアコンが稼働してます。先生、久々のセブは如何でしたか? シッカリ日焼けして帰ってこられたのでは? たまには、先生もゆ〜つくり休んで欲しいと思いますー☆家族サービスも出来ましたでしょうか。。。私は、7月に仙台に行きました。土日だったので、クリニックには行けず…8月には、湯蓋さんが、京都に遊びに来てくれました♪娘、真奈穂も幼稚園に入園し、随分シッカリしてきましたよ。勿論、川村先生の事も覚えておりますから!!!クリニックのピンバッジは、おもちゃ箱の側でいつもキラキラ輝いているので、毎日見えています~(*^。^*)ウチの娘は、6月にアデノウィルスで小児科へ行ったくらいで、至って元気です!ナカナカ京都で小児科さんへお世話になる機会も少ないです。いいことですよ。しかし、これから秋、そして寒いのが苦手な冬が到来するので、風邪など気をつけたいと思います。そういえば、全然余談になりますが…先週沖縄に旅行に行ったお友達が、小児科で日本脳炎を接種して行ったんですけど。(3歳児)沖縄の人なら他以上に接種してるんじゃない? って言われたのですが、日本脳炎って、随分前には、やったのですが、最近、受ける人は少ない、もしくは居ないかなと勝手に思っていました。どうやら、小児科さんで、日本脳炎のワクチンあります。と案内が貼られてたそうで…私は、ナカナカ行く機会がないので、見てないのですが。熱帯地方だし、確かに養豚場もありますし…日本脳炎の存在、彼女に言われて、久々に思い出しました。最近、何か変わってきているのでしょうか? 多分、これから帰省する時も、私は娘に日本脳炎は打たないと思うのですが。。。新しいワクチンとか? 難しいですね。そして、そして…佐藤さんのお出産、おめでとうございませー! と、伝えて頂けますでしょうか? 実は、私も順調にいけば3月には出産予定デス!!ギリギリ同級生になれるかもです。京都の生活も刺激的で楽しいです。日本史をもっとシッカリ勉強しとけばよかったと、毎日思いつつ、世界遺産や歴史的建造物、神社などにドブプリ癒されてます。主人は、異動の話があれば、勿論仙台をPUSHすると、いつも言ってますので、先生に逢える日は遠くないとも思っております。なので、首を長くして待って下さいねー! 皆さまにも、宜しくお伝えください。」。長いメールありがとう。特に今回のようにメールが少ない時には、紙面を埋めるのに大助かりです。転居しても、当院への思いが変わらないのは、うれしい限りです。また戻ってくるのを首を長くして、楽しみに待っています。



さて、質問にあった日本脳炎のワクチンの件です。日本脳炎による副反応が問題になり、2005年5月から「積極的勧奨を見合わせる」という通達が、厚生労働省から出されました。実際には「見合わせる」であり、中止ではありませんでした。しかし、一般的な解釈としては、中止と認識されてきました。しかし昨年3歳児が日本脳炎に罹患したこともあり、厚生労働省も接種すべきという方向に変わりました。但し、「見合わせる」も、そのまま残っている訳です。一方、小児科医(特に西日本)は、日本脳炎のワクチンの必要性を認識して従来通り接種しているところもあります。日本脳炎ワクチンの詳しいことは、新聞(2005年6月号)に掲載してあるので参考にしてください。小生の判断は、西日本在住の場合には、現在のワクチンを3才(接種標準年齢)で接種することを勧めます。宮城県では、現状では日本脳炎の発生はないので、新しいワクチン(来年の5月頃には接種可能)を待っていいと思っています。但し、日本脳炎の定期接種は90カ月(7歳6カ月)までなので、新しいワクチンが出るまでに時期を超える恐れがあるお子さんは、従来のワクチン接種を勧めています。従来のワクチンは不足ぎみなので、早めに接種することを考えてください。

比較的多くみられた溶連菌感染症は減少し、水痘はわずか1例と年間最低のレベルです。どうしても夏休みになると、集団で感染する病気が少なくなります。、夏カゼと呼ばれる感染症が目立ちますが、ヘルパンギーナも半減しています。

8月の感染症の集計



お店や会社を紹介してみませんか

かかりつけの患者さんとのコミュニケーションのため、お店や会社の宣伝コーナーを設けることを企画しています。毎月500~700枚発行しているので、宣伝効果が期待できるかも知れません。あくまでもかかりつけの患者さん対象で、一般のからは受け付けていません。読者にサービスなどのメリットがあれば大歓迎です。

お店や会社を紹介してみたい方がいらしたら、遠慮なく受付まで。

編集後記

夏期休暇、学会出張と、皆様にはご迷惑をお掛けしました。年に2回の休みのひとつで、心待ちにしていました。これから冬にかけての病院の混雑を乗り切るための充電と思っています。お陰で、スタッフ一同リフレッシュすることができました。ありがとうございました。

